スポーツ情報

※新型コロナウイルス感染症の影響により掲載内容を中止・延期など変更する場合があります。

新型コロナウイルス感染症防止のため、健診などを受ける場合は必ずマスクを着用してください。
会場に行く前に必ず体温を測定、37.5度以上の発熱がある時や、咳、痰などの症状がある場合は参加を控えてください。

◆元気なたじみ！うながっぽーツの日2022

子どもも大人も、みんなで一緒に体を動かしながら楽しめる体験型のイベントです。

日時　10月15日(土)開始式 9:00　イベントブース開催 9:30～13:00　※雨天中止

場所　星ケ台競技場 ※事前申込不要。当日、各ブースで直接お申込みください。

内容(予定)

みんなでリレーマラソン	1周400メートルのトラックをリレーで走り続けます
けんけんぱ！	懐かしい遊びを通じて、俊敏性やリズム感を鍛えます
親子で体力測定	シャトルランなど6種目。自分の得意分野が分かるかも
モルック体験	体と頭を使うフィンランド生まれのニュースポーツ
あおぞらヨガ	芝生の上でヨガ体験　持ち物：レジャーシート

※その他、鉄棒・跳び箱体験、チアダンス体験、ボールdeあそぼ、野球体験(ストラックアウト、ティーボールバッティング)、一輪車体験、ポールウオーキング体験、スタンプラリーなど

問　笠原体育館(元気なたじみ!うながっぽーツの日2022実行委員会事務局) ☎ 43-6285

軽スポーツ紹介　『モルック』

6月18日に、土岐市で3年ぶりに東濃地区スポーツ推進委員研修会が開催されました。午前中は岐阜市の「Withコロナ時代のスポーツの在り方」の動画の紹介があり、グループで意見交換をしました。

スポーツを安心安全に楽しむために、今の時代私たちに何ができるのか！スポーツは身体的、精神的な健康維持に必要不可欠。それには正しい理解と確実な対策が必要になってきます。現在第7波のコロナが感染拡大の折、模索しながらスポーツを楽しめるように考えていきたいと思います。

午後からは、実技として多治見市が中心となり「モルック」というスポーツを体験しました。フィンランドのカレリア地方のゲームを元に1996年に開発されたスポーツです。

「モルック」という木の棒を投げて「スキットル」と呼ばれる12本のピンを倒し、点数を競います。倒れ方によって点数が変わり、得点が50点ぴったりになったほうが勝利します。

皆さん何回も対戦していくうちに白熱して、勝負の面白さも実感でき、これからの新しいスポーツのひとつと言えます。

「モルック」は多治見市で貸出しをしていますので、地域の行事でやってみてはいかがでしょうか。屋外でも屋内でも、子どもから大人まで簡単に楽しめるスポーツです。(多治見市スポーツ推進委員 片山)

問　文化スポーツ課 冨士 ☎ 22-1191

運動広場無料開放※平日のみ

市内にある5つの運動広場を無料で開放します。直接曜日別の運動広場にお越しください。

日時　9月1日(木)～10月31日(月) 15:30 ～17:30

場所

月	火	水	木	金
北丘	市之倉	脇之島	星ケ台	梅平

内容　ホッピング、縄跳び、フラフープなど

※雨天、グラウンド状況、他行事などにより予告なく中止の場合があります

※団体で球技などに利用することはご遠慮ください

問　星ケ台管理事務所　☎ 22-2564

長なわとびを極めよう

日時　10月22日(土)、29日(土)　9:30～10:30

場所　笠原体育館 第3競技場

対象　年長～小学6年生　**参加料**　500円/回

持ち物　室内用シューズ

申込方法　電話で

問　笠原体育館　☎ 43-6285

【トレーニング室利用者講習11月 ※要事前申込】

場 申 問	時　間		定員
TYK体育館 ☎ 22-4111	毎日実施 ※状況により休講日あり	随時受付	2人/回
笠原体育館 ☎ 43-6285	4日(金)、16日(水)、21日(月)	10:00～11:00 13:30～14:30	4人/回
	夜間：奇数日	19:00～20:00	

受講料　500円　　**対象**　高校生以上

持ち物　運動できる服(ジーンズ、スカート不可)　室内用シューズ

申込方法　電話または窓口へ(10月1日(土) 9:00～)

※開始10分前には着替え、受付を済ませてください

保護司を知っていますか？

「保護司」は、法務大臣から委嘱されたボランティアで、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えています。

全国に約4万6千人おり、多治見市では、34人が活動をしています（令和４年８月現在）。

保護司は、主に２つの活動をしています。

- 保護観察※を受けている人と毎月２回程度面接をし、保護観察期間中の約束を守れるよう見守ったり、相談に乗ったりします。また、刑事施設や少年院から釈放される人が、スムーズに社会復帰を果たせるよう、住居や就業先など受入の環境を調整しています。
  ※保護観察･･･犯罪や非行をした人が、地域の中で社会生活を営みながら、更生していく社会内処遇。
- 犯罪予防活動として、全国一斉に「社会を明るくする運動」を実施し、7月の強調月間には街頭啓発を行っています。また、小中高校や地域の依頼を受けて薬物乱用防止講座を行うなど、犯罪や非行のない、安全で安心な地域社会をつくるための啓発活動を行い、更生保護への理解を広めています。

保護司の活動や、立ち直ろうとしている人たちへのご理解をよろしくお願いします。

「社会を明るくする運動」で市長へ内閣総理大臣メッセージを伝達

保護司活動に関心がある方は是非一度お問い合わせください

問 多治見保護区保護司会　[多治見更生保護サポートセンター]
平日（祝日を除く）10:00～16:00、第４日曜日9:00～12:00
〒507-0034　豊岡町1-65　☎／FAX 51-1881
E-MAIL　sc-tajimi310@ob.aitai.ne.jp

陶都のまもり
～多治見警察署だより～
「令和４年度 全国地域安全運動について」

令和４年10月11日（火）から20日（木）までの間、岐阜県警察、岐阜県、岐阜県防犯協会が連携して全国地域安全運動を実施します。

期間中、子供と女性の犯罪被害防止、ニセ電話詐欺の被害防止、住宅を対象とした侵入盗やドラッグストアなど対象の万引き被害防止を重点に広報活動や立ち寄りなどの特別警戒を行ないます。

安心･安全なまちづくりのため、みなさんのご協力をよろしくお願いします。

問 多治見警察署　☎ 22-0110（代表）

樹木の伐採などに協力ください!
～道路の安全な通行を確保するために～

公道に接する民地で管理している樹木などが倒れたり落下することで、車両や通行者に迷惑をかけることがあります。

これらが原因で事故が発生した場合、法律により樹木などの所有者が責任を問われることがあります。伐採などの適切な対応をお願いします。

作業時の注意事項

- 電線や電話線があるところは、大変危険です。最寄りの電気事業者や通信事業者に相談してください。
- 通行する車両や自転車、歩行者の安全確保に注意してください。
- 道路上で作業するときは、手続き（道路使用許可、道路占用許可など）が必要となる場合があります。下記の道路管理者まで問い合わせください。

問 岐阜県…多治見土木事務所施設管理課
☎ 23-1111（内線309）
多治見市役所…道路河川課　☎ 22-1276

身近にある消費生活のお話
未来を変えよう！「エシカル消費」

「エシカル消費」という言葉を聞いたことがありますか？直訳をすると、「倫理的消費」。
エシカル消費とは、より良い社会の実現に向け、人や社会、環境などに配慮した消費行動のことを言います。難しそうに感じるかもしれませんが、以下のようなちょっとした行動がエシカル消費に繋がります。

① 地元の農産品を購入する（地産地消）
② 長く使える商品を選ぶ
③ 環境などに配慮された商品であることを示す認証ラベル付きの商品を選ぶ
④ 電気や水などの無駄遣いをなくす
⑤ 料理を残さず食べる

一人一人の小さな行動も、みんなでやれば大きな変化になります。小さなことを一歩ずつ、今日から「エシカル消費」を始めてみませんか。

問 くらし人権課　奥村　☎ 22-1134
消費者ホットライン　☎ 188（いやや）

FMたじみ「PiPiホットステーション763」
ピックアップパーソナリティ　塚本（つかもと） 沙紀（さき）さん

担当番組 塚本沙紀のkstyle bar
毎週火曜日　20:30～21:00
土岐市ホットライン763
毎週月曜日　8:35～ 8:45
13:10～13:20

BTSと相撲をこよなく愛する塚本沙紀です。そして、多治見市出身、多治見市在住、多治見愛に溢れた生粋の多治見人です。火曜日午後8時30分～午後9時の「塚本沙紀のKstyle bar」では、世界中を虜にしている韓国ブームの爆発的人気にフォーカス！音楽、KPOPアイドル&スター、フード、ドラマ、映画、コスメ、カルチャーなどのコリアンエンタメの魅力をたっぷりお届けしております。コリアンエンタメをズバっとランキング形式で斬る『ズバコリランキング』、タメになる旬なエンタメコーナー『コリタメナビ』をはじめ、地元のショップに突撃レポートしたりと幸せな時間に浸りながらKstyle barをOPENしています。毎週多種多様なお題を、バッサリガッツリ塚本沙紀節で提供しています。ラジオカウンター越しのご来店、是非お待ちしております。韓国の魅力は塚本沙紀にお任せあれ！あなたの耳とハートにフォーカス！

ホームページからピピの放送が聴けます！

問 FMたじみ　☎ 21-3370　**FAX** 21-3371
E-MAIL info@fmpipi.co.jp

夜間在宅当番医・休日急病診療
10月の夜間在宅当番医

日	曜	当番病・医院名	住　所	TEL
3	月	はら内科クリニック	大畑町西仲根3	28-3223
4	火	サニーサイドホスピタル	小名田町西ヶ洞1	25-8110
5	水	林内科クリニック	栄町1	25-7755
6	木	中村こどもクリニック	前畑町3	24-1717
7	金	うすい整形外科	滝呂町12	43-3600
11	火	岡山内科・消化器科クリニック	宝町3	21-1717
12	水	高羽クリニック	太平町3	23-5515
13	木	笠原診療所　はっとり医院	大畑町7	28-2261
14	金	おおむらクリニック	宝町10	25-0166
17	月	光ヶ丘クリニック	光ヶ丘2	21-0510
18	火	うえだ整形外科	松坂町1	20-2022
19	水	ふくい内科クリニック	松坂町1	20-0660
20	木	夏目整形外科医院	錦町3	23-4720
21	金	倉知眼科	平和町7	22-5515
24	月	たじみ内科	広小路2	22-2333
25	火	松下クリニック	根本町3	26-7890
26	水	前川ファミリークリニック	錦町1	22-0682
27	木	あいざわ整形外科	平和町7	23-3700
28	金	たじみ陶都眼科	前畑町4	44-9777
31	月	ももいクリニック	前畑町5	28-1011

● 診療時間外はこちらへお問い合わせください
救急医療情報センター　☎ 23-3799

診療時間　19:00～21:30（受付は21:00まで）
※気象状況、諸般の以上により、急きょ休診となる場合があります。受診する場合は、当番医にあらかじめ電話で連絡してください。
※夜間診察料が加算されます

問 保健センター　☎ 23-5025

土曜と日曜、祝日の休日急病診療

時間　土曜日…19:00～21:30（受付は21:00まで）
日曜・祝日…13:00～17:00（受付は16:30まで）
診療場所　多治見市民病院　救急外来診察室
事前の電話連絡必要　☎ 22-5211

たじみのたからもの　-112-

問 文化財保護センター　篠　☎ 25-8633

中央線の歴史

日本で初めて新橋ー横浜間に鉄道が開通した明治5年(1872)以来、日本各地に鉄道網が敷かれるようになります。多治見における鉄道は、それから28年後の同33年(1900)の名古屋ー多治見間の中央線の開通から始まります。中央線敷設にあたっては、「中馬街道」筋(曽木・鶴里)で「中央鉄道線中馬街道予定敷設趣意書」が発表されるなど、鉄道敷設予想地域で誘致運動が展開しました。一方で反対運動も盛んに行われ、御嵩町では鉄道の敷設による従来の運送関係者への影響や汽車のばい煙の害を心配する声があがりました。多治見においても賛否両論が出ましたが、汽車による陶磁器輸出の効用が強調された誘致運動が展開しました。その結果、名古屋ー多治見ー土岐津ー瑞浪を通る「下街道」筋に沿って中央線が敷設されることになり、名古屋ー多治見間の開通以後、明治35年(1902)には中津(現中津川)まで、同42年(1909)には三留野(現南木曽)までが開通しました。その後も線路は東に延び続け、同44年(1911)に中央線は全通しました。

戦後、蒸気機関車からでるばい煙に悩まされていた多治見市域の人々から中央線の電化を望む声があがり、昭和41年(1966)の7月から名古屋ー瑞浪間が、同43年(1968)7月には中津川まで複線電化しました。複線電化によってスピードが上がり、それまで約1時間かかっていた名古屋ー多治見間を普通で45分、快速で38分前後で走ることが可能になり、乗車人数も大幅に増加しました。

その後、昭和62年(1987)に国鉄が分割民営化したことで国鉄中央線はJR東海の管轄となり、今日に至るまで多治見と他地域を結ぶ主要線として活躍しています。

文化財保護センターで企画展「多治見の鉄道史」を開催中です。(～12月23日(金)※土日祝休み。ただし、10月9日(日)は開館します。)

旧国鉄中央線14号トンネルの赤レンガ▲

青と緑の物語 ～土岐川観察館の自然だより～

問 土岐川観察館　☎ 21-2151

アメリカザリガニの今後

多治見市に限らずどこでも見られるアメリカザリガニですが、2022年5月にアメリカザリガニなどの外来種に対して規制の入る法案が可決されました。現在は、「緊急対策外来種」に指定されており、積極的に防除を行う必要がある種とされています。そのアメリカザリガニが「要緊急対処特定外来生物」となり以前よりも強い規制がかけられるようになります。

アメリカザリガニは、1927年にウシガエルの養殖用の餌として持ち込まれたのが始まりで、ウシガエル産業が定着しなかった事から養殖場が閉鎖され、養殖場から逃げ出したり故意に逃がした事から全国に広がったと言われています。

このように日本全国に広がってしまったアメリカザリガニですが、手軽に捕獲でき飼育できる事から人気になっており、さまざまな種のザリガニが流通しています。

2020年11月には、アメリカザリガニを除く全ての外来ザリガニが「特定外来生物」に指定されましたが、今回アメリカザリガニも対象となりました。

しかし、他のザリガニとは違い「特定外来生物」に指定されていない背景には、日本全国でアメリカザリガニを飼育している人が多いことが理由と思われます。もし「特定外来生物」に指定されれば、飼育継続するために環境省へ申請を行わなければならず、野外に逃がす人が出てくるのではと思われています。実際そのような事が起きるとは断言できませんが、さまざまな川や池で確認される事から、少なからず人為的に放されたと思われます。

ザリガニだけではなく、ペットは最後まで責任もって飼育をする事をお願いしています。

では、現在野外に生息しているアメリカザリガニはどうするのか。積極的に防除しなければならないと言われているのにも関わらず、誰が行うのか、誰が行っているのかと疑問が出ます。土岐川観察館でも、アメリカザリガニに対して防除活動は令和3年から実施していますが、年に1回実施しただけでは、効果は全くありませんでした。継続して防除を行うには行政、市民、有識者が協力して行わないといけないと思います。

今回は、飼育や販売について規制強化されましたが今後、日本全国に広がってしまった外来種の防除をどう対処していくのかが課題だと思います。

アメリカザリガニ▲

(土岐川観察館館長　山本 真行)

市民病院だより ～地域と共に考える医療～

問 市民病院　☎ 22-5211

多治見市民病院 循環器科内科
小野 真菜美 Manami Ono

4月より多治見市民病院に赴任し、早くも数カ月が経ちました。
私はこれまで心臓カテーテル検査、治療を多く行って参りました。手首や足の血管から細い管を入れ、心臓の血管の詰まりや狭窄を治すのです。この方法を使い、心筋梗塞や狭心症の患者様の治療を行うことが私の専門分野です。

心臓カテーテルと言うと怖いと感じる方が多いかもしれません。しかし、患者様の大半は、終了後に「思ったより楽でした。」「これなら何回でもできるわ。」と笑顔を見せてくださいます。検査も治療も入院は2泊3日、かかる時間は検査ならば1時間、治療であれば2時間（症例によって差はあります）、終了後はすぐにお食事やお手洗いなどご自身でしていただくことが出来ます（手首から管を入れた場合。足の血管からの場合は1晩の安静が必要です）。

私は幼い頃病弱で、入院ばかりしていました。そのため少しは患者様の不安や恐怖心も理解できると自負しております。患者様に安心して検査、手術を受けていただくために私が心がけていることが2つあります。1つは検査、手術の必要性、リスク、実際の流れを事前にきちんと説明することです。少しでも迷いがあれば何度でもご説明させていただき、患者様に心から納得していただいた上でカテーテルを行うようにしています。2つ目は術中の苦痛を最小限にするということです。カテーテルは全身麻酔を使わず、局所麻酔のみ使って行うので、患者様の目が覚めた状態で行います。そのため、局所麻酔をしっかり使い、強い痛みを感じることがないように努めたり、私やスタッフが適宜お声かけをさせていただき、少しでも不安を軽減できるような環境を作ったりするようにしています。

心臓病も他の病気と同じく早期発見が大切です。胸が苦しい、最近息が切れる、前より動くと胸がえらい気がする等、気になることがありましたら是非一度私の外来へお越しください。誠心誠意対応させていただきます。

教育最前線

問 教育研究所　柴田　☎ 23-5920

未来のリーダーを育む ～連合生徒会交流会～

8月5日（金）に、「第32回 連合生徒会交流会」が開催され、多治見市内全中学校の生徒会の代表が集まりました。そこで、自分たちで作成したプレゼン資料を使って生徒会活動の交流をしたり、今後の生徒会活動について話し合ったりしました。

生徒会活動の交流では、どの学校も、よりよい中学校生活を目指し、全校での学習会を企画したり、タブレットを使って全校生徒にアンケートをしたりするなど、工夫して活動している様子が見られ、互いに刺激を受けていました。

今後の生徒会活動についての話し合いでは、昨年度策定した「令和版 多治見市中学校宣言」の、「情報機器を正しく判断して使う力を身に付ける」「持続可能な社会に貢献する一歩として環境美化活動に進んで参加する」ことを中心に、どんな活動をしたらよいかアイディアを出し合いました。学校の課題を見つめ、真剣に考え、活発に意見を交流しました。

「いろいろな学校の人たちと話したことで、視野が広がり、考えがより深まった。」生徒の感想です。よりよい中学校生活を目指し、リーダーとして今後の活躍に期待しています。

素敵なまちで輝く
素敵なひとたち

MY TOWN HOT NEWS

SNAP at TAJIMI-2022

7月30日(土)・31日(日)
真夏の陶器まつり

真夏の陶器まつりを本町オリベストリートで開催

7月31日(日)
みんなでてりゃあ夏まつり2022

7月28日(木)
人間国宝・加藤孝造氏、紺綬褒章受章 伝達式

8月3日(水)
株式会社バローホールディングスとの総合的健康パートナーシップ連携協定締結

市内7カ所で分散開催

7月31日(日)
多治見市制記念花火

8月16日(火)
たじみクールアースデー2022
「うながっぱの打ち水大作戦」

さまざまな分野で活躍された
皆さんを紹介します！

ホームページを
ご覧ください

Tajimist
10
令和4年10月1発行
2022
No.2357
広報たじみ

◆編集発行◆ 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2-15 【開庁時間】8：30～17：15
【TEL】0572-22-1111 【FAX】0572-24-3679
【E-MAIL】hisyokoho@city.tajimi.lg.jp 【HP】https://www.city.tajimi.lg.jp/

多治見市緊急メール

多治見市防災アプリ

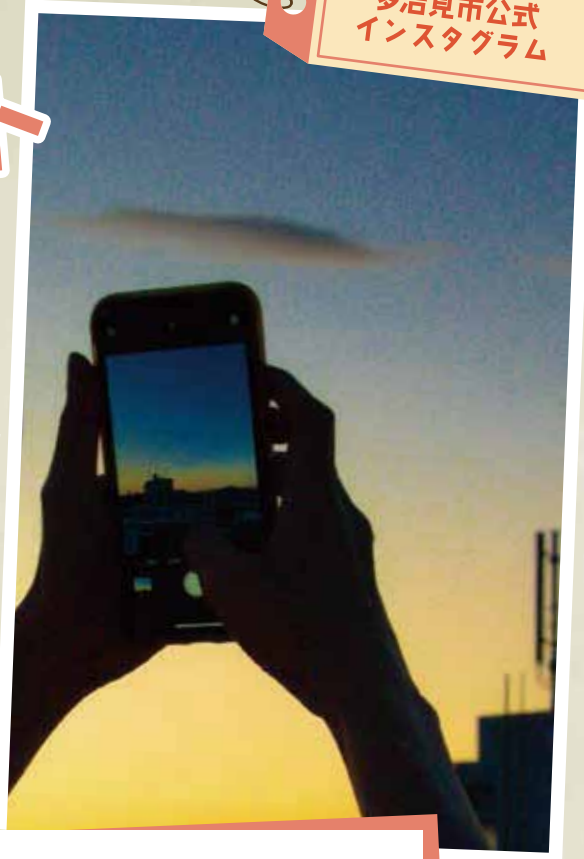
App Store

Google play

第5回 フォトコンテスト

多治見市公式インスタグラム

令和3年の入賞写真



募集テーマ

わたしのまち写んぽ

まち歩きで出会った素敵な風景
“わたしだけのとっておき”“わたしのおすすめ”を
投稿してください。

開催期間
10月1日～11月30日

投稿作品から10点選び、素敵な賞品プレゼント。
また、広報紙、インスタグラムなどで紹介させていただきます。

応募条件

- 多治見市公式アカウント「tajimi_official」をフォロー。
- 開催期間中にハッシュタグ「#tajimihot」をつけて投稿された写真が対象です。
- 本人が撮影した写真に限ります。
- テーマに沿っていれば撮影季節は問いません。

問 秘書広報課 ☎ 22-1372

市公式Instagramアカウント